

年長組で1学期最後の「英会話教室」を実施！～「フォニックス」で基礎的な発音をしっかりと学んでいます～（2020. 7/15）

7月15日(木)、本園の遊戯室において「英会話教室」を実施しました。子ども達は椅子を持って遊戯室に入りました。すると、2人の先生が笑顔で迎えてくれました。子ども達も活動への期待感からか、元気いっぱいです。先生方の前に椅子を置くと、いよいよ始まりです。



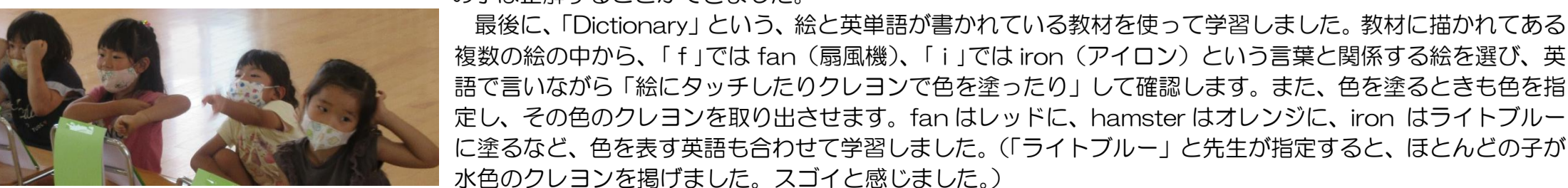
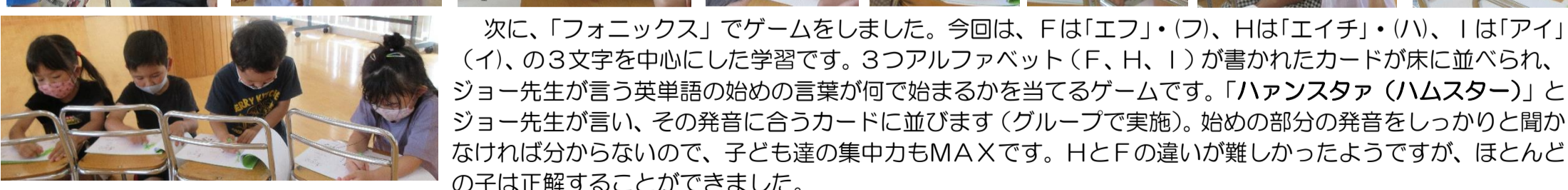
まずは、「hello」と元気な声でジョー先生が挨拶をします。次に、先生の仕種を真似て、手を上げたり(ハズ アップ)ジャンプをしたりして、子ども達の興味を先生の方に向けます。そして、毎回歌っている「グッドモーニング」の歌を一緒に歌い、場の雰囲気盛り上げていきます。子ども達も実に楽しそうです。次は、「アルファベット」のA～Zまでをボードを見ながら繰り返し歌います。前回同様、子ども達はしっかりと歌えるようになっています。



次に、2人の先生(ジョー先生、ゆか先生)が4枚のカードを掲げます。「p」「q」「d」「b」です。実際に発音し、違いを覚えさせようとしています。次に、2人の先生が子ども達にカードを1枚ずつ配ります(配られると、Thank you と言います)。そして、床の上にアルファベットの文字が書かれたカードを散らし、「same card, get」とジョー先生が言います。床に散らばったカードの中から、自分が持つカードと同じカードを探し出し先生に見せます。すぐに見つかる子、なかなか同じカードと出会えない子、子ども達は真剣そのものです。「p」と「d」を見間違っ子もいて、大盛り上がりです。



次に、音と文字との関係性を学ぶ「フォニックス」をしました。幼児や小学生に英語を教えるときに最初に育てるのは「聞くこと」です。子どもは聞いて英語の音を獲得していきます。特に耳の良い幼児期では、先に「音」をしっかりと学ぶようにしているそうです。A(エイ) B(ビー) C(スィー)……という普通の読み方と、音で読む a(ア) b(ブ) c(ク) d(ドウッ)を、Aは「エイ」・(ア)、Bは「ビー」(ブ)と言いながら先生と一緒に繰り返していきます。それぞれの文字を言うときに、口や舌の動きが分かるよう先生はフェイスシールドにして子ども達が見やすいようにしていました。



次に、「フォニックス」でゲームをしました。今回は、Fは「エフ」・(フ)、Hは「エイチ」・(ハ)、Iは「アイ」(イ)、の3文字を中心にした学習です。3つアルファベット(F、H、I)が書かれたカードが床に並べられ、ジョー先生が言う英単語の始めの言葉が何で始まるかを当てるゲームです。「ハムスタア(ハムスター)」とジョー先生が言い、その発音に合うカードに並びます(グループで実施)。始めの部分の発音をしっかりと聞かなければ分からないので、子ども達の集中力もMAXです。HとFの違いが難しかったようですが、ほとんどの子は正解することができました。

最後に、「Dictionary」という、絵と英単語が書かれている教材を使って学習しました。教材に描かれてある複数の絵の中から、「f」では fan(扇風機)、「i」では iron(アイロン)という言葉と関係する絵を選び、英語で言いながら「絵にタッチしたりクレヨンで色を塗ったり」して確認します。また、色を塗るときも色を指定し、その色のクレヨンを取り出させます。fanはレッドに、hamsterはオレンジに、ironはライトブルーに塗るなど、色を表す英語も合わせて学習しました。「ライトブルー」と先生が指定すると、ほとんどの子が水色のクレヨン掲げました。スゴイと感じました。

英会話教室が終わりクラスに戻るときに、「バイ」「スィー ユー」などと英語で先生方に挨拶する子ども達。自然に英語を使っている姿に驚きました。**【写真】**ジョー先生の英語にも素早く反応する子も。ゆか先生のフォローも適切で、楽しく活動することができていました。先生の質問にも積極的に答えています。スゴイ！